

## 湯けむりシアターバル

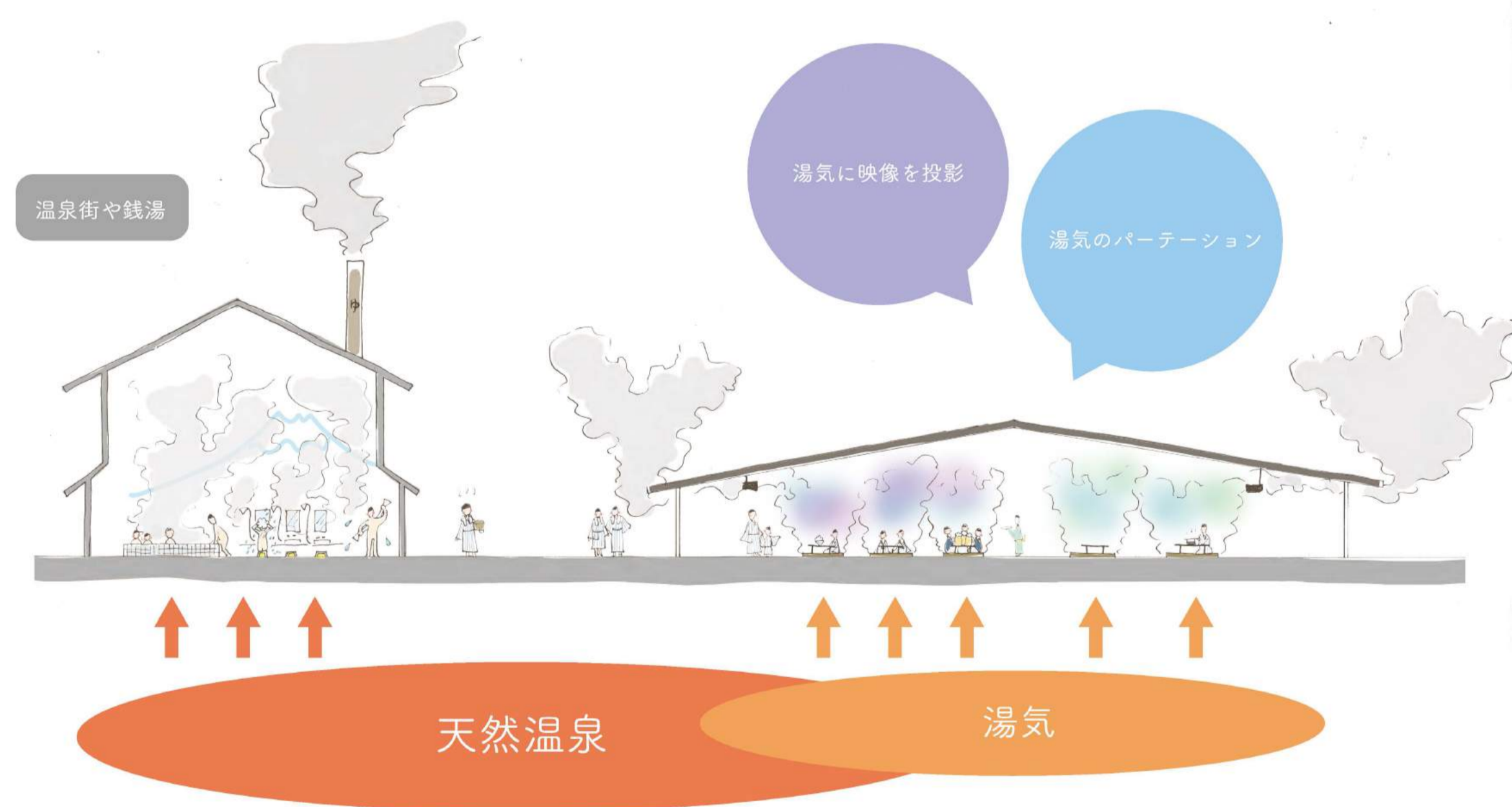
湯気の特徴を活用し、揺らめく映像に包まれ  
不思議な空間を楽しむ事ができるみせ

温泉街や銭湯から立ち上っては空気中に消えゆく湯気。  
湯気は人や光、背景を透過しながら視界を遮り、人との距離感を曖昧にします。  
白く漂う湯気に映像を投影する事で空間演出ができないかと考えました。

そこで身近でありながら活用されていない湯気の特徴を活かした  
新しい飲食店を提案します。

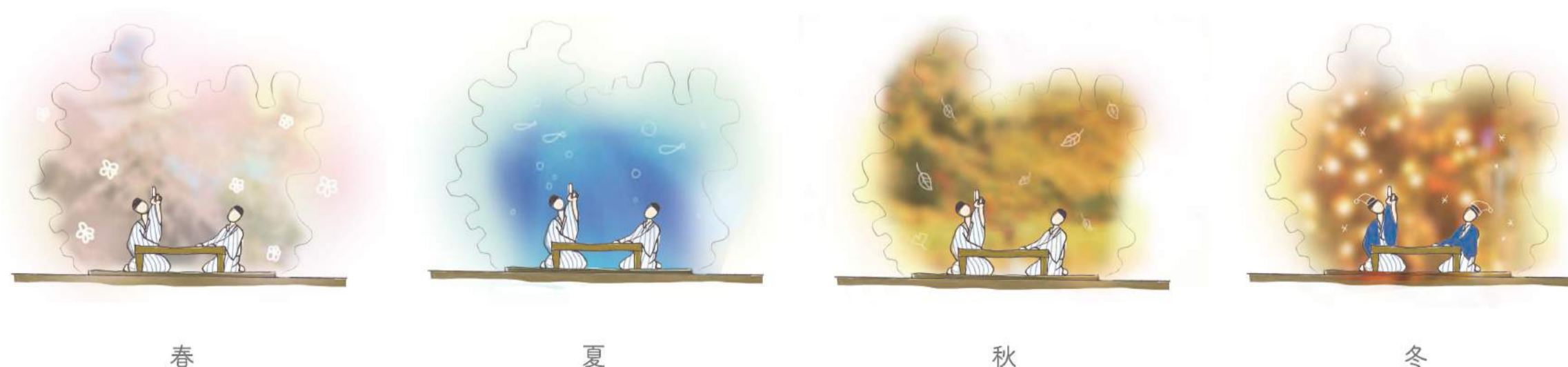
温泉街の近くに店を計画し、湯は温浴施設へ、湯気は店内に取り入れ、活用します。  
客席と客席の間から湯気を放出する事でパーテーションとなり、  
そのパーテーションに映像を投影する事で湯気はスクリーンにもなります。

温泉上がりに夕食を食べながら湯気の揺らぎに癒され、  
不思議な映像で楽しい時間を過ごす事ができるお店です。



### 曖昧なパーテーション

隣席との境界には壁はなく、曖昧に存在します。  
湯気は人や物を包み込みながら緩やかに境界を作り、パーテーションになります。  
湯気が濃いところは人影が見えなくなったり、薄いところは人影が見えるようになります。



### 形を変えていくスクリーン

湯気のパーテーションに映像を投影する事でスクリーンになります。  
季節に合わせた映像や湯気と合わせたインスタレーション映像を投影します。  
また、時間帯によって店内の演出を変え、店内で過ごす時間をわくわくさせてくれます。